事業番号

0017

									耒番			1	
		平成3	0年度行	<b>亍</b> 政事	事業レ	ビュ	ーシート	• (		警察	察庁	)	
警察用航空機の	<u></u> 整備				担当部局庁 長官官房						作月	<b>戊責任者</b>	
不明	事業 (予定	終了!) 年度	終了予定	なし	担当	課室	会計課装備	<b>華室</b>					
一般会計													
					関係計画、	する 通知等	-	-					
-					主要	経費	その他の事	耳経費					
警察活動の基盤となる警察用へリコブターを国が整備し、これを有効に活用することで全国的に一定水準の警察活動を効果的に遂行するものである。													
警察用へリコブターは、パトカーと連携した容疑者の追跡・検挙、大規模災害発生時における遭難者の捜索・救助等各種の警察活動に多角的に活用されているところであるが、こうした警察活動を迅速・的確に遂行するため老朽化による飛行の安全性や航空性能が低下した警察用へリコブターの更新整備を図る。													
直接実施													
		274	年度		28年度		29年度			30年度	3	1年度要求	
필	<b>á初予算</b>	4,6	631		2,476		_			2,382		5,492	
裤	前正予算	<b>A</b>	207		1,186		-	-					
O#		3	20		-		_						
況翌年	度へ繰越し		-		-		_						
7	6備費等		_		-		-						
	計	4,	744		3,662		0	[		2,382		5,492	
執行	<b>う額</b>	4,6	693		3,650		-						
執行率 (%) 99%				100%		_							
当初予算+補正予算に対す 106%		06%		100%		#DIV/0	!						
		30年度	当初予算	31	年度要求	<b>†</b>		主な			#		
航空機購入費 2,382			思 5,492		既年度契約の	既年度契約の航空機についての支払い及び航空機の新規取得があ							
Ī	<del>'</del> †	2.3	382		5,492								
						単位	27年度	28年	度	29年度	中間目標 32 年度	目標最終年度	
一定水準の夢	変活動た雰			J	成果実績	機	82	82		82			
保するために	必要な警察用	警察用航空	空機の保有権	機数	目標値	機	82	82		82	84		
航空機の整備	<u> </u>				達成度	%	100	100	)	100			
会計課装備室	温調べ												
	活動	指標				単位	27年度	28年	度	29年度	30年度 活動見込	31年度 活動見込	
				活動実績	機	5	3		0	-	-		
警察用航空機整備(納入)機数				<u> </u>	当初見込み	機	5	3		0	2	-	
	算出	l根拠							度	29年度		L 度活動見込	
出					単位当たり					-			
単位当たりのコスト=X/Y X: 当該年度における航空機(中型ヘリ)の新規契約額Y: 同整備機数				額	計算式		-						
	一     警警       一     警警       一     要察察       一     要察察       一     要容       方     表執       三     事業       一     中       一     中       一     中       一     中       一     中       一     中       一     中       一     中       一     中       一     中       一     中       一     中       一     中       中     中	警察用航空機の整備 不明 (事業 (予定 できます) (予定 できままが) (予定 できままが) (予算 できままが) (予算 できままが) (予算 できまかが) (予定 できまかが) (利益	***********************************	管察用航空機の整備 不明 (予定) 年度 終了予定が (予定) 年度	警察用航空機の整備 不明	京東報子	下明	接触性   接触the   其即the   其即t	平成30年度行政事業レビューシート (   2	平成30年度行政事業レビューシート (	報告	平成30年度行政事業レビューシート(	

政策 1 市民生活の安全と平穏の確保

## 施策 1 総合的な犯罪抑止対策の推進

2007	・一個日おからからかれて											
	定量的指標		単位	27年度	28年度	29年度	中間目標年度	目標年度 30 年度				
	地域住民等の安全を脅かしている犯罪の認知件数(重要犯罪(注))	実績値	件	12,323	11,298	10,869						
測定	(注) 殺人、強盗、放火、強姦、略取誘拐・人身売買及 び強制わいせつ	目標値	件	14,371	13,907	13,309		12,590				
指標	定量的指標		単位	27年度	28年度	29年度	中間目標年度	目標年度 30 年度				
	地域住民等の安全を脅かしている犯罪の認知件数(住 宅対象侵入犯罪(注))	実績値	件	61,722	54,271	50,551						
	(注) 住宅強盗、空き巣、忍込み、居空き及び住居侵入	目標値	件	80,360	74,014	67,753		61,511				

## 本事業の成果と上位施策・測定指標との関係

警察用航空機を整備することにより、地域住民の安全を脅かしている犯罪の抑止につながる。

政策 1 市民生活の安全と平穏の確保

施策 2 地域警察官による街頭活動及び初動警察活動の強化

測	定量的指標		単位	27年度	28年度	29年度	中間目標 年度	目 30	票年度 年度
定	刑法犯及び特別法犯の総検挙人員に占める地域警察	実績値	%	73.8	72.6	71.1			
標	官による検挙人員の割合	目標値	%	75.3	73.8	72.6		7	71.1

## 本事業の成果と上位施策・測定指標との関係

| 山間日堙 | 日堙左座

警察用航空機を整備することにより、地域警察官による初動警察活動の強化につながる。

政策 1 市民生活の安全と平穏の確保

|施策||3 悪質商法等の防止及び環境破壊等の防止

	定量的指標		単位	27年度	28年度	29年度	中間目標年度	目標年度 30 年度
	悪質商法等(注)の検挙事件数 (注)利殖勧誘事犯、特定商取引等事犯及びヤミ金融事	実績値	事件	634	683	950		
	(江)が過期的争犯、特定同以引导争犯及び、こ本概争 犯	目標値	事件	635	634	683		950
	定量的指標		単位	27年度	28年度	29年度	中間目標 年度	目標年度 30 年度
	悪質商法等(注)の検挙人員 (注)利殖勧誘事犯、特定商取引等事犯及びヤミ金融事	実績値	人	974	1,013	1,270		
	犯	目標値	人	1,115	974	1,013		1,270
測定指標	定量的指標		単位	27年度	28年度	29年度	中間目標 年度	目標年度 30 年度
	産業廃棄物事案の検挙事件数	実績値	事件	749	790	744		
伙	<u>住</u> 本が未切す本のIXチャロ双	目標値	事件	839	749	790		744
	定量的指標		単位	27年度	28年度	29年度	中間目標年度	目標年度 30 年度
	産業廃棄物事犯の検挙人員	実績値	人	1,161	1,213	1,107		
ľ	圧木が未切ず北ツ1次チハ貝	目標値	人	1,285	1,161	1,213		1,107
	定量的指標		単位	27年度	28年度	29年度	中間目標年度	目標年度 30 年度
	犯罪利用口座凍結のための金融機関への情報提供件 数	実績値	件	29,207	24,191	19,408		
	(利殖勧誘事犯、特定商取引等事犯及びヤミ金融事犯に関するものに限る。)	目標値	件	35,886	29,207	24,191		19,408

本事業の成果と上位施策・測定指標との関係

警察用航空機を整備することにより、環境破壊の防止につながる。

政策評価

産業 1 至大子口手来等ききも著情犯等への約除な対処  東京 1 50 年度  東京 30 年度  東京			政等	5 国の公安の維持										
要素的資産が1(注1)に係ら限型の保管体験 (注1)等級は1(20)に係られていた。 (注1)等級は2(20)に係るのでは、 (注2)等級は2(20)に係るのでは、 (注2)等級は2(20)に係るのでは、 (注2)等級は2(20)には、 (注2)等級は2(20)には、 (注2)等級は2(20)には、 (注2)等級は2(20)には、 (注2)等級は2(20)には、 (注2)を発生している。 (注2)を発生の対象がに、 (注2)を発生の対象が、 (注2)を発生の対象が、 (注2)を発生の対象が、 (注2)を発生の対象が、 (注2)を発生の対象が、 (注2)を発生の対象を対象を発生の対象を対象を発生の対象を対象を発生の対象を対象を発生の対象を対象を対象を発生の対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対					備犯罪への的確かが加									
東京			льж				単位	274	年度	28年度	29年度			
対象・対象・対象・対象・対象・対象・対象・対象・対象・対象・対象・対象・対象・対						実績値	件	1,5	508	1,525	1,375	+12		
単位   27年度   29年度				※実績値については年間実		目標値	件	1,6	672	1,634	1,604			
### 2			測				単位	274	丰度	28年度	29年度			
### ※集務的については年間実施であり、目標的については、憲法の指揮を担信している。    本書の成果と上位施資・制定指揮を登儀することにより、警備犯罪への的確な対象につながる。   本書東の成果と上位施資・制定指揮との関係   本書東の成果と上位施資・制定指揮との関係   本書東の成果と上位施資・制定指揮との関係   本書東の成果と上位施資・制定指揮との関係   本書の成果と上位施資・制定指揮との関係   本書東の成果と上位施資・制定指揮との関係   本書東の成果と上位施資・制定指揮との関係   本書東の成果と上位施資・制定指揮との関係   本理   中間目標   年度   4度   4度   4度   4度   4度   4度   4度			定指	主要警備対象勢力に係る犯	罪の検挙人員	実績値	人	1,5	556	1,574	1,424	12	, i	
日内外の情別に応じた警備措置を行い、警備別象の安全を確保・   20						目標値	人	1,6	672	1,713	1,668			
お安育等及び資商・発達の実施状況(事例)   20   1   1   1   1   1   1   1   1   1				定性的指標	目標		目標年月		れの信			- 1	の安全を確保す	
本事業の成果と上的施策・動定指標との関係  繁発用航空機を発信することにより、警信犯罪への的値な対処につながる。    大口					<b>美</b>		30		TO THE				の文王と唯体す	
京祭用航空機を設備することにより、芸術犯罪への的値な対処につながる。   「大口				他 <b>认</b> 况(事例)					ルネットッツルル(大根)					
大田   日本   日本   日本   日本   日本   日本   日本   日					本事業の	成果と上位	施策∙測	定指標	との関	係				
東京			警察	用航空機を整備することにより	J、警備犯罪への的確な対処 	につながる	5.							
#位 年度 29年度 30年度 年度 年度 1			改革 項目	分野: -	-									
日報信   「京本   日報信   日報   日報   日報   日報   日報   日報   日			第一		· <del>-</del>		単位	計画問		29年度	30年度		目標最終年度 年度	
連位   連位   単位   単位   単位   単位   単位   単位			_ D											
単位 計画開始時		ョ済	層・	_			%							
「大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大		• 財	<u></u>				単位	計画問		29年度	30年度		目標最終年度	
事業所管部局による点検・改善		口再	隣 「						1 /2			112	12	
事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。  事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。  本美の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。  本道所果警察への警察用航空機の整備事業は、国民社会のニーズを的確に反映したものである。  地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。  地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。  地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。  地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。  地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。  地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。  地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。  地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。  地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。  政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。  政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業が、  最後なる警察用航空機の整備を担っており、必要かつ適切を事業をある。  一般競争契約、指名競争契約又は随意契約(全面競争)による支出のうち、一者に私又は一者応募となったものはないか。  競争性のない随意契約となったものはないか。  要益者との負担関係は妥当であるか。  世位当たりコスト等の水準は妥当か。  運位当たりコスト等の水準は妥当か。  愛の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。  費・使金が事業目的に即し真に必要なものに限定されている。  不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)  不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)  ・ 中成28年度の調達において小型へリコブターの仕様を見直をのは、現に必要なものに限定されている。  ・ 中成28年度の調達において小型へリコブターの仕様を見直をのに表しいで表し、の中間は必要はないで、関係を関係している、対方額全額について、整察用航空機の購入のために支出されている。  ・ 中成28年度の調達において小型へリコブターの仕様を見直			<b>               </b>				%							
事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。  事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。  事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。  本道府県警察への産警察用航空機の整備に係る経費は、警法第37条第1項第6号及び警察上施行令第2条第6号による国庫が支持することとなっており、また、中央開達による経費は、警法第37条第1項第6号及び警察法施行令第2条第6号による国庫が支持することとなっており、また、中央開達による経費は、警法第37条第1項第6号及び警察法施行令第2条第6号による国庫が支持することとなっており、また、中央開達による経費はないのである。  別添の政策を達成するための手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。  「会社の関係を担っており、必要かつ適切な事業が、政策体系の中で優先度の高い事業である。」  「会社の関係を担っており、必要かつ適切な事業であるが、会社なる警察用航空機の整備を担っており、必要かつ適切事業である。」  「会社の関係を担っており、必要がつ適切な事業である。」  「会社のない、随意契約となったものはないか。」  「会社のない、随意契約となったものはないか。」  「会社のない、随意契約となったものはないか。」  「会社のない、随意契約となったものはないか。」  「会社を関係は安当であるか。」  「会社を関係は安当であるか。」  「会社を関係は安当であるか。」  「会社のない、関係を関係を関係を関係を関係していることから、国が負担すべき事業として適切なものである。」  「会会の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。単位当たりコストの水準は妥当なものである。」  「会会の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。単位当たりコストの水準は妥当なもので限定されている。」  「会会の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっている。」  「会会の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。」  「会会の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっている。」  「会会の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっている。」  「会会の流れの中間段階での支出は会の流れを関係していて、警察用航空機の関係は表現を関係していては、関係していては、関係していては、関係していては、関係していては、関係していては、関係していては、関係していては、関係していては、関係していては、関係していては、関係していては、関係していては、関係していては、関係していては、関係していては、関係していては、のは、のは、のは、のは、のは、のは、のは、のは、のは、のは、のは、のは、のは					本事業	の成果と	<b>女革項目</b>	-KPIと	の関係					
事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。  事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。  事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。  本道府県警察への産警察用航空機の整備に係る経費は、警法第37条第1項第6号及び警察上施行令第2条第6号による国庫が支持することとなっており、また、中央開達による経費は、警法第37条第1項第6号及び警察法施行令第2条第6号による国庫が支持することとなっており、また、中央開達による経費は、警法第37条第1項第6号及び警察法施行令第2条第6号による国庫が支持することとなっており、また、中央開達による経費はないのである。  別添の政策を達成するための手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。  「会社の関係を担っており、必要かつ適切な事業が、政策体系の中で優先度の高い事業である。」  「会社の関係を担っており、必要かつ適切な事業であるが、会社なる警察用航空機の整備を担っており、必要かつ適切事業である。」  「会社の関係を担っており、必要がつ適切な事業である。」  「会社のない、随意契約となったものはないか。」  「会社のない、随意契約となったものはないか。」  「会社のない、随意契約となったものはないか。」  「会社のない、随意契約となったものはないか。」  「会社を関係は安当であるか。」  「会社を関係は安当であるか。」  「会社を関係は安当であるか。」  「会社のない、関係を関係を関係を関係を関係していることから、国が負担すべき事業として適切なものである。」  「会会の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。単位当たりコストの水準は妥当なものである。」  「会会の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。単位当たりコストの水準は妥当なもので限定されている。」  「会会の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっている。」  「会会の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。」  「会会の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっている。」  「会会の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっている。」  「会会の流れの中間段階での支出は会の流れを関係していて、警察用航空機の関係は表現を関係していては、関係していては、関係していては、関係していては、関係していては、関係していては、関係していては、関係していては、関係していては、関係していては、関係していては、関係していては、関係していては、関係していては、関係していては、関係していては、関係していては、のは、のは、のは、のは、のは、のは、のは、のは、のは、のは、のは、のは、のは			_											
事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。  ・					事業所管	部局による	る点検・	改善						
事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。				項	目			評価						
地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。  地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。  地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。  地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。  地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。  の変異的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。  政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業がある。  一般競争契約、指名競争契約又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一着な人工に一者に募となったものはないか。  競争性のない随意契約となったものはないか。  競争性のない随意契約となったものはないか。  単位当たりコスト等の水準は妥当か。  単位当たりコスト等の水準は妥当か。  単位当たりコスト等の水準は妥当か。  単位当たりコスト等の水準は妥当か。  本書を受験したなったものに限定されているか。 費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。 費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。 不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)  ・ 一般競争入札により警察用航空機を購入していることから、単位当たりコストの水準は妥当なものである。  ・ 本書を受験したいました。  ・ 本書を受験したい、というに対した。  ・ 本書を受験したいる。  ・ 一般競争入札により警察用航空機を購入していることから、単位当たりコストの水準は妥当か。  ・ 本語を対していることから、国が負担すべき事業として適切なものである。  ・ 本語を対していることから、国が負担すべき事業として適切なものである。  ・ 本語を対していることから、国が登察用航空機を購入していることから、単位当たりコストの水準は妥当なものに限定されている。  ・ 本語を対していることから、真に必要なものに限定されている。  ・ 本語を対していることが、では、対しなどのである。  ・ 本語を対していることがら、真に必要なものに限定されている。  ・ 本語を対していることがら、真に必要なものに限定されている。  ・ 本語を対していることがら、真に必要なものに限定されている。  ・ 本語を対していることなっているが、 ・ 本語を対していることなっている。  ・ 本語を対していることなっている。  ・ 本語を対しているとなっているが、 ・ 本語を対していることなっている。  ・ 本語を対しているとなってものはないか。  ・ 本語を対しているとなってものはないか。  ・ 本語を対しているとなってものはないか。  ・ 本語を対しているとなっているが、  ・ 本語を表になる経験できる。  ・ 本語を表になるとなっているのである。  ・ 本語を表になるとなっている。  ・ 本語を表になるとなっている。  ・ 本語を表になるとなっている。  ・ 本語を表になるとなっている。  ・ 本語を表になるとなっている。  ・ 本語を表になるとなっている。  ・ 本語を表になるになるとなっている。  ・ 本語を表になるとなっている。  ・ 本語を表になる。  ・ 本語を表になるとなっている。  ・ 本語を表になる。  ・	国	事業の	の目的	は国民や社会のニーズを的研	雀に反映しているか。			0	広域を迅速に機動する警察用航空機の整備事業は、国民					
世 政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。	投入の必	地方目	自治体	、民間等に委ねることができた		0	都道府県警察への警察用航空機の整備に係る経費は、警察 法第37条第1項第6号及び警察法施行令第2条第6号により 国庫が支弁することとなっており、また、中央調達による経済 性などの観点から、警察庁が実施すべき事業として適切なも のである。							
- 般競争契約、指名競争契約又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。	性			達成手段として必要かつ適切	高い	0	責務で盤とな	ある公共の る警察用航	安全と秩序の	)維持のため	の警察活動の基			
本		競争怕				支出のうね	5 —		従来よ	い、一般競争	多入札により	落札した業者	と契約し航空機	
■			者応	札又は一者応募となったもの	<b>まないか</b> 。									
単位当たりコスト等の水準は妥当か。	事	受益			713. 3. 0. 10 N				治安維持活動については、県境、国境を問わない広域的な 活動を求められることから、国が負担すべき事業として適切					
事性       資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	の	単位	当たりこ	コスト等の水準は妥当か。				0	一般競争入札により警察用航空機を購入していることから、					
費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。       ○ れていることから、真に必要なものに限定されている。         不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)          繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)          その他コスト削減や効率化に向けた工事は行われているか。       平成28年度の調達において小型へリコプターの仕様を見直	率	資金(	の流れ	の中間段階での支出は合理	的なものとなっているか。			-	-					
繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載) 平成28年度の調達において小型へリコプターの仕様を見直	_							0						
	- 1							-	_					
		その作	也コスト	ト削減や効率化に向けた工夫	は行われているか。			0				型ヘリコプター	-の仕様を見直	

事	成果実績は	成果目標に見合ったも	のとなっているか。		0	O 治安維持活動に必要な機数を確保していることから、成果目標に見合ったものである。				
業の有	事業実施に	当たって他の手段・方注 コストで実施できている	去等が考えられる場合、それと比較して。 か。	より効果的	0	生空からの治安維持の唯一の活動手段として本事業で している。	で実施			
効	活動実績は.	見込みに見合ったもの	であるか。		0	当初見込み通りの機数を整備している。				
性		施設や成果物は十分に			0	空中からの警察活動に十分に活用されている。				
関		業がある場合、他部局 体的な内容を各事業の	引・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役 の右に記載)							
連事業	所管府省名	事業番号	事業名			-				
点検・改		化を図る必要がある。	老朽化した警察用航空機の更新や、治安情勢に応じた: 鳥の状況等を予定価格に反映させているところである。	充実強						
善結果	改善の 方向性					5ことが可能かどうか継続して検討する。 周達するといった取組を行っており、今後も継続して効率	⊠的な			
			外部有調	職者の所見	!					
点検対	村象外									
	3 IB		行政事業レビュー	−推進チー	ムの所見					
	通現 リ状 <sup>引き</sup>	き続き、仕様の見直し	こより調達の競争性を十分確保し、また							
			所見を踏まえた改善点/4	既算要求に	こおける反	映状況				
	通現 リ状 <sup>引き</sup>	き続き、仕様の見直し	こより調達の競争性を十分確保し、また	数機一括の	調達により	り経済性の向上に努める。				
	•		İ	構考						
		1.5	関連する過去のレビ							
	2年度 当初19 6年度 20	b 補止10	平成23年度 62 平成27年度 18	平成24年		平成25年度 19				
	9年度 警察 [	<del>†</del> ( 0019	)	十八人20年	8年度 19					
		,	・ 人。執行実績がない新規事業、新規要求事:	業については	は現時点でう	予定やイメージを記入。				
	金の流れ									
り先	金の受け取が何を行っ									
て補	るかについ (足する)									
	立:百万円)									
				П		_				
費	目・使途	# =	A.	金額		B.	百			
(「資金	ー 金の流れ」に てブロックご	費目		五 領 五万円)	費目	使途 金 (百万月				
とに	最大の金額 出されている									
者に	ついて記載 費目と使途									
の双	方で実情がしるように記し									
,,,,	載)	計		0	計		0			
÷				<u> </u>	п		U			
·	٠٠ عمر حد ن در									

	支 出 先	法人番号	業務概要	支 出 額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	_	-	_	-		-	-	-

## 国庫債務負担行為等による契約先上位10者リスト

	ブロック 名	契 約 先	法人番号	業務概要	契約額 (百万円)	契約方式	入札者数 (応募者 数)	落札率	ー者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (契約額10億円以上)
1		-	-	_	_		_	-	_